



2022年3月25日

各 位

会 社 名 日本冶金工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 久保田 尚志
(コード番号 5480 東証第一部)
問合せ先 常務執行役員 経営企画部長 豊田 浩
(TEL : 03-3273-3612)

「カーボンレス・ニッケル製錬への挑戦」に関するお知らせ
～持続可能なニッケル原料体制確立に向けた変革～

当社は、本日開催の取締役会において、「カーボンレス・ニッケル製錬への挑戦」（以下、本挑戦といたします。）を通じた「持続可能なニッケル原料体制確立に向けた変革」を下記の通り推進することを決議しましたので、その概要についてお知らせいたします。

記

1. 本挑戦の背景

当社は中期経営計画 2020 において「レジリエントカンパニー」を目標とし、当社グループ自らの持続可能性を高めるとともに、持続可能な社会の構築に貢献する取り組みを進めております。さらに、サステナビリティに関する重要課題として「事業活動を通じた地球環境への負担軽減」を掲げ、2050 年度を見据えたカーボンニュートラルや資源循環型社会の実現に向けて取り組みを進めております。

当社はニッケル製錬からステンレス特殊鋼製品の製造まで一貫生産を行っており、当社大江山製造所においてフェロニッケルを製造しておりますが、省電力の反面、石炭に由来する多量のCO₂を排出する独自プロセスでもあり、カーボンニュートラルに対する社会的要請や輸入ニッケル鉱石及び石炭を巡る調達環境の悪化などを踏まえると、より大きな転換が求められております。

こうしたなか、当社は、従来の輸入ニッケル鉱石及び石炭を主体としたニッケル製錬から脱却し、リサイクル原料を主体とした本挑戦に取り組むことといたしました。

2. 本挑戦の概要

(1) 目指す姿

本挑戦により、「持続可能なニッケル原料体制確立」（具体的には以下2点の実現）を図り、当社グループ自らの持続可能性を高めるとともに、カーボンニュートラルの実現、資源循環型社会構築の実現に貢献してまいります。

- ① 川崎製造所のカーボンニュートラルに向けた取り組みにふさわしい、調達リスクに左右されず安価な、「カーボンレス・ニッケル原料」の供給
- ② ニッケル含有スクラップ、社内発生ニッケル含有廃棄物の再生利用（還元メタル）との組み合わせによる当社グループにおけるニッケル資源リサイクルの完結

(2) 「カーボンレス・ニッケル製錬」に向けた施策

4つの施策により、コスト競争力を維持しつつ、2030年度に向けて、「カーボンレス・ニッケル製錬」の実現を目指してまいります。(2030年度大江山製造所 CO2 排出原単位：2013年度対比7割減を目標)

① エネルギー転換

・エネルギー源の石炭から LNG、再生燃料等へのシフト

② カーボン代替 (ケミカルリサイクル)

・ニッケル還元材料の石炭 (無煙炭) から廃プラ等へのシフト

③ リサイクル原料の多様化と使用拡大

・使用リサイクル原料の多様化による、ニッケル鉱石からリサイクル原料 (ニッケル含有都市鉱山) へのシフト

④ 副産物・廃棄物低減、活用

・副産物 (ナスファインサンド) の再利用、低減等

なお、上記施策の実行に伴い、概算額 20 億円の戦略設備投資を実施してまいります。

3. 今後の見通し

本日公表しております「特別損失 (減損損失) の計上見込みに関するお知らせ」のとおり、2022年3月期連結決算において、本件に伴い特別損失 (減損損失) の計上 (約 50 億円) が見込まれます。しかしながら、今後の業績動向等も勘案した法人税等の計上見込み並びに足元までの状況を踏まえて、業績予想を改めて精査いたしました。2022年2月3日に公表した業績予想に変更はありません。

以上